

経費按分計算書

(手順1) 施設の各面積から「事業用面積割合」と「対象外店舗減額割合」を算出する。

※原形復旧又は原形復旧を超える事業の場合は「**旧施設**」の面積、原形復旧に満たない事業の場合は「**新施設**」の面積を記入。

| 項目 | 面積 |
|---------|-------------------------------|
| 延床面積 | m ² ・・・a |
| 事業用面積 | m ² ・・・b |
| 非事業用面積 | m ² ・・・c |
| 共用面積 | m ² ・・・a - (b + c) |
| 対象外店舗面積 | m ² ・・・d ※dはbの内数 |

$$\star \text{ 事業用面積割合 } R = b / (b + c)$$

※標記の率は参考です。端数処理はしません。

$$\star \text{ 対象外店舗減額割合 } S = 1 - d / a$$

※標記の率は参考です。端数処理はしません。

(手順2) 補助対象外経費を除外した金額(税抜)を事業用経費、非事業用経費、全体影響事業費に区分する。

| 項目 | 事業用途のみの事業費 (ア) | 非事業用途のみの事業費 (イ) | 全体影響事業費 (ウ) | 合計 |
|-----|----------------|-----------------|-------------|----|
| 施設費 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| 設備費 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| 合計 | 円 | 円 | 円 | 円 |

(手順3) 次の算式により、按分計算を行い補助金算定経費を算出する。

$$\text{補助金算定経費} = [(\text{ア}) + \{ (\text{ウ}) \times R \}] \times S = \text{円}$$

※ここで一度円未満切捨て

※さらにもう一度円未満切捨て

※上記内訳 施設費 設備費

←事業実績書に記入する額

保険等按分計算書

※按分が必要な施設について保険等に参加している場合、保険金額も按分が必要となります。

$$\text{保険金額の按分額} = \text{保険金額 (円)} \times \frac{\text{事業用面積}}{\text{事業用面積} + \text{非事業用面積}}$$

※経費按分計算書の事業用面積 b

※経費按分計算書の事業用面積 b

※経費按分計算書の非事業用面積 c

※事業実績書に記入する額